

# 「消費する」だけではなく「利用する・活用する」という意識をもって暮らそう!



テーマ

## 暮らし LIFE STYLE

エネルギーの使用を抑えながらリサイクル可能な資源で、地球環境にやさしい商品をつくるよ。

### 《生産者》

#### 再利用可能な商品生産への取り組み

部品だけを交換し、そのまま使えるような製品の製造や、容器包装においては商品として再び使えるものの製造などがあげられます。身近なところでは一升びんやビールびんに使われている「リターナルびん」があります。これは、何度も繰り返し使え、平成12年度の再利用率は、ビールびんで99%、一升びんで88%となっています。※参考出典：(財)環境情報センター・EICネット

#### 再生利用可能な資源を使った生産への取り組み

製造工程から再資源化できるものを使用することや、部品の材質を表示して再資源化を容易にする取り組みなどを行っています。例えば繊維業界では、今まで複合繊維が多く使用され、リサイクルが難しいといわれていましたが、単一素材での製造を促すことにより、原料まで戻し、再生することが可能となりました。

#### 環境負荷の少ない商品生産への取り組み

「リサイクルされた原料を使用」、「製造工程では有害物質を使わない」など環境負荷の少ない商品の生産に取り組んでいます。 ※環境負荷の少ない製品には「エコマーク」が表示されています。

#### 製品寿命の長期化へ向けた取り組み

自動車メーカーや家電メーカーなどでは、部品の交換や修理を行うことにより、使い捨てるのではなく、製品の寿命を長期化させる取り組みが進んでいます。

私たちが生活の中で便利さを求めたことによって廃棄物の排出量も急激に増加しました。大量に資源やエネルギーを使い、大量に製品を作り、大量に消費を行い、大量に廃棄物を排出するということを繰り返してきた結果、天然資源の枯渇や最終処分場の不足など、大きな問題が起こっています。そこで、この問題を少しでも軽減させるためには循環型社会を実現することが必要なのではないでしょうか。ここでは、私たち消費者が循環型社会に向けて簡単に取り組めることや、生産者・回収(リサイクル)業者が、バランスのよい循環型社会に向けて取り組んでいること、さらによく循環させるためのリサイクル法をご紹介します。

循環型社会とは…廃棄されるものを最小限に抑え、排出されたものはできるだけ資源として有効に使い、自然界から採取する資源を少なくし、環境への負荷を減らした社会です。

### 《回収・リサイクル業者》

#### 再生利用可能な資源回収への取り組み

再び資源として使用できるものは、ほとんど回収されるようになりました。身近なところでは、ペットボトルや缶、牛乳パックの容器類、新聞や雑誌などの紙類があります。ペットボトルは粉砕・溶解しポリマーとして再生利用したり、再びペットボトルの原料として使えるほか、衣類としても使われています。また、新聞紙や雑誌類は、トイレットペーパーをはじめとした各種紙製品にリサイクルされます。

#### 省エネルギーを意識したリサイクルへの取り組み

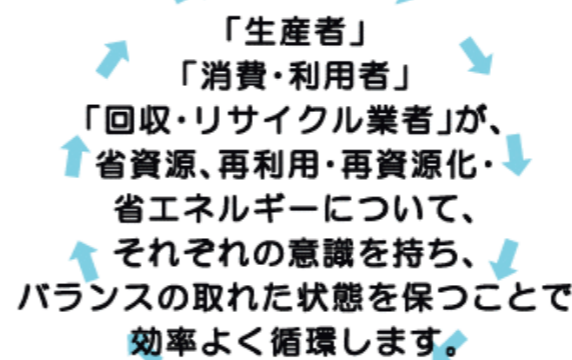
回収した資源や商品の運搬に使用されるトラックなどの省エネにも取り組んでいます。アイドリングストップをはじめ、小型貨物車を何台か使用していたところを、大型貨物車に替え燃料を削減したり、中には使用済みの天ぷら油をディーゼルエンジン燃料に加工しているところもあります。また、リサイクルを行う工程においても自然エネルギーの利用を積極的に取り入れています。

#### 再生産に向けた分別への取り組み

電化製品や自動車、パソコンなどは、使用済みの製品を回収、部品ごとに分別され再利用されています。大型家電(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)は小売業者に引き渡し製造業者へ、自動車は、引取業者へ引き渡し、フロント類回収業者、解体業者、破砕業者によってフロント類は破壊され、リサイクルされます。

#### 容器包装リサイクル法

事業者が飲食物の容器包装を再商品化するため、消費者はガラス製容器・ペットボトル・プラスチック製容器などを分別して排出します。また市町村は分別されたものを収集します。



### 《消費・利用者》

**必要な商品だけ買うようにしましょう**  
必要以上にまとめて買うと、使わないうちに悪くなり、ごみになっていませんか?まとめてバックになっている商品が多いのですが、ばら売りやばかり売りなどを活用して、ごみにしない工夫をしましょう。

**環境負荷の少ない商品を選びましょう**  
私たちのまわりにはさまざまな商品の中で、環境負荷が少ないなど環境保全に役立つと認められる商品には「エコマーク」\*がつけられています。商品を選ぶときには、なるべく環境負荷の少ない商品を選ぶようにしましょう。  
※「エコマーク」の認定基準  
「リサイクルされた原料を使うこと」「製造工程で有害物質を使わないこと」「使用するときにエネルギーを節約すること」「廃棄されたときにリサイクルしやすくなっていること」などの基準によって定められています。

**再利用・リサイクル可能な商品を選びましょう**  
例えば、牛乳びん、一升びんは洗って何度も使えますし、牛乳パックや発泡スチロールトレイのリサイクルは比較的多くのお店で行っているようです。回収されたものは工場ではペレット化され、プラスチック製品や再生トレイなどの原料として使われます。買い求めたものを使い捨てる「消費」ではなく、次に使う利用や活用法を考えた商品選びをしましょう。

**省資源を意識しましょう**  
簡易包装や買物袋の持参などで省資源を心がけましょう。また、移動はなるべく自動車を避け、公共交通機関を利用したり、自転車に切り替えるなどして省エネを意識しましょう。

商品を選ぶときはリサイクルできるものかを考えて、本当に必要なものだけ買わなくちゃ。

#### トレー・牛乳パックのリサイクル

発泡スチロールトレイや牛乳パックは、プラスチック製品や再生トレイ、トイレットペーパーにリサイクルされる大事な資源。回収場所を探しましょうね。

#### 【自動車リサイクル法】

自動車メーカー、輸入業者が「シュレッダーダスト」「エアバック類」「カーエアコンのフロン類」を引き取ってリサイクルするため、自動車の所有者は、リサイクル料金の支払いと廃車の際は、県の登録を受けた引取業者への引渡しをします。  
※料金は、メーカーや車種によって異なりますが、乗用車であれば、7,000円～18,000円となります。 ※店舗あおもり No.950より

#### 【家電リサイクル法】

小売業者が引き取り、製造業者がリサイクルするため、消費者は「エアコン」「テレビ」「冷蔵庫」「洗濯機」の家電4品を廃棄する際、収集運搬料金とリサイクル料金を支払います。

資源や商品として使えるものはきちんと回収して、また使ってもらえるようにしましょう。

#### タイヤのリサイクル

使用済みのゴム部材やトラック・バス用タイヤのトレッド部分はタイヤ原料などに再資源化されます。

#### カーエアコンのフロンをリサイクル

車のエアコンから回収した使用済みのフロンを分解処理し、その後できる物質を産業廃棄物の汚泥と混ぜて建築資材にリサイクルする技術も開発されています。

### 消費・利用者ができるエコドライブ

自動車メーカーや運送会社など、車に関わる企業では、より省エネルギー・省資源を意識した取り組みが行われてきています。私たちが身近な移動手段として車を運転する機会が多いですね。2004年3月末現在で全国の自動車普及率は、\*1世帯あたり1.104台、青森県では1世帯1.207台と全国平均を上回る普及率になっています。そこで、少しでも地球環境にやさしい運転を心がけてみませんか?ここでは、私たちが簡単に実践できるエコドライブを紹介します。  
※参考出典：(財)自動車検査登録協会

**余分な荷物が載っていませんか?**  
積みっぱなしの荷物を運ぶことでも燃料は使われてしまいます。例えば、ゴルフバッグ1個を降ろすだけで1年間約2.6リットルのガソリンが節約できます。

**タイヤの空気圧は正常ですか?**  
タイヤの空気圧が低い状態では、ガソリンを余計に消費してしまいます。定期的な空気圧をチェックする習慣を身につけましょう。

**エンジンをかけっぱなしにしていませんか?**  
アイドリングを止めるとガソリンの節約になります。ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。

**経済速度で走りましょう**  
一般道路で時速40km/h、高速道路で時速80km/hが経済速度といわれています。一定の速度で走り続けることが燃費向上につながります。

**急発進・急加速をしていませんか?**  
急加速時は多くの燃料がエンジンに送られ、余計に燃料が使われます。急発進・急加速をしない走行が燃費を良くするコツです。

**ムダな空ぶかしをなくしましょう**  
始動直後に暖機のためにふかすのはガソリンが霧化しにくく、ガソリンを多く消費します。ゆっくりでも、走りながら暖機するようにしましょう。

また、相乗りや公共交通機関を利用して車の使用を減らすこともエコドライブのひとつです。多人数で出かける時は、相乗りで台数を減らしたり、バスや電車を積極的に利用してみませんか? 普段とは違う景色が楽しめるかもしれませんよ。